

中部様式

令和2年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

東郷町地域公共交通会議

平成19年8月1日設置

フィーダー系統 令和元年6月18日 確保維持計画策定等

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
令和3年4月以降の公共交通網形成計画の更新及びバス路線再編に向けた公共交通ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none">計画更新に向け、各種調査を実施。バスターミナルを発着点とするじゅんかい君の路線再編を検討中。	いずれも令和3年4月の更新・路線再編に向け準備を進める。
GTFS化のより一層の推進、利用促進及び利便性向上	町ホームページの「オープンデータTOGO」で公表。	GTFSデータを広く活用してもらえるよう、啓発に努める。
尾三地区が連携した広域的な公共交通ネットワークの構築	バスターミナルを活用した近隣市との交通ネットワークを構築する可能性について協議。	引き続き協議を行い、バスターミナルを尾三地区の拠点として広域的な交通ネットワークの構築を目指す。

交通の将来像

公共交通が暮らしになじみ気軽に出かけたくなるまち

【東郷町の地域特性】

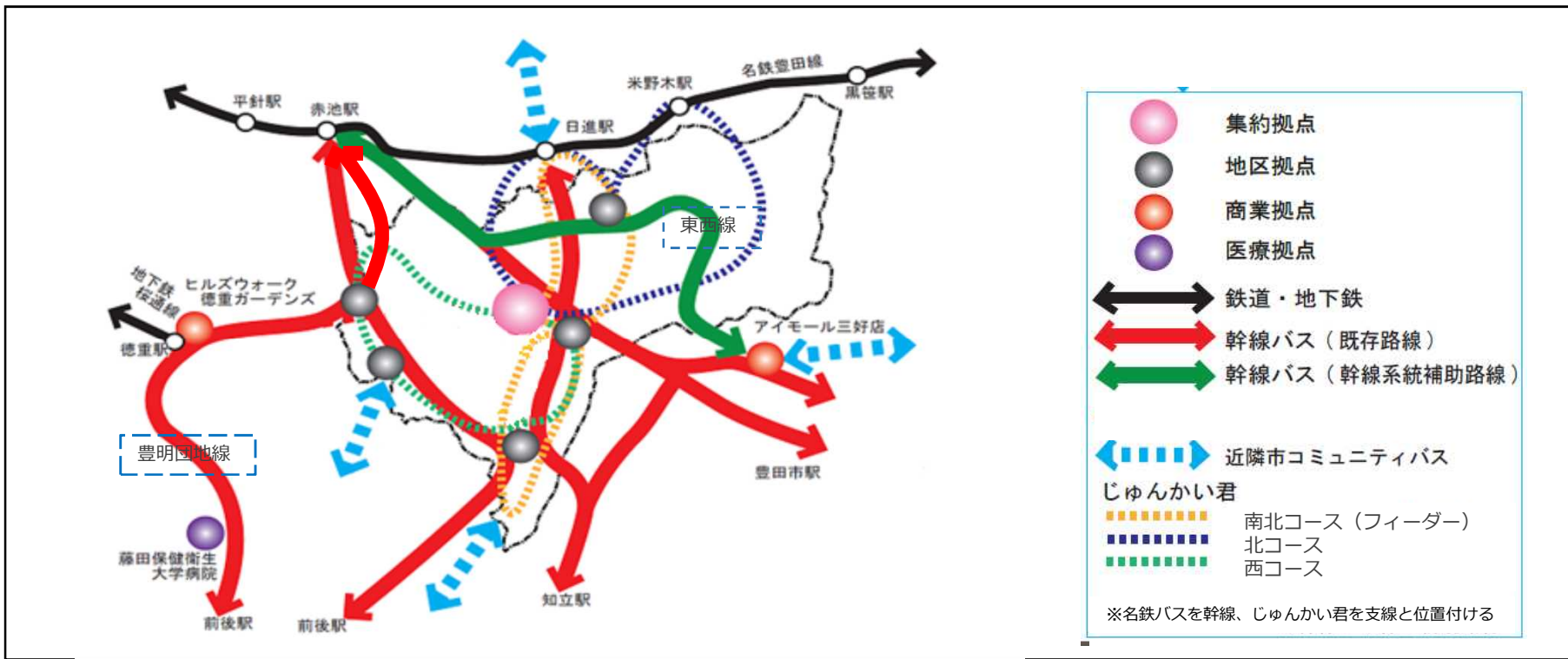
- 鉄道駅がないため、バス路線のみで公共交通ネットワークを形成。
- 名古屋市や豊田市への流動が多い。
- 近年は、近隣市で大型商業施設が開業し、本町でも令和2年9月14日に「ららぽーと愛知東郷」が開業。

【計画の目標及び期間】

東郷町地域公共交通網形成計画(2016~2020)

【基本方針】



- 1 広域的な公共交通ネットワークの形成
- 2 鉄道駅等へのアクセス利便性の向上
- 3 エコまちづくりを支える公共交通ネットワーク形成
- 4 持続可能な公共交通体系の確立と維持・活用



	集約拠点
	地区拠点
	商業拠点
	医療拠点
	鉄道・地下鉄
	幹線バス (既存路線)
	幹線バス (幹線系統補助路線)
	近隣市コミュニティバス
じゅんかい君	
	南北コース (フィーダー)
	北コース
	西コース
※名鉄バスを幹線、じゅんかい君を支線と位置付ける	

3.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容 (Do)

事業名	概要	実績等
幹線バスの運行 【基本方針1】 【基本方針2】	名鉄バス東西線、豊明団地線の継続的な運行	【運行本数】 東西線 4,758便/年 豊明団地線 7,326便/年
支線バスの運行 【基本方針1】 【基本方針2】 【基本方針3】 【基本方針4】	<p>■巡回バスの継続的な運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北コース（フィーダー系統） ・西コース ・北コース <p>※南北コースは、鉄道駅及び幹線である名鉄バス東西線に接続</p> <p>■巡回バス再編路線図の作成 セントラル地区のバスターミナルを活用する再編</p>	<p>【運行本数】 南北コース 2,999便/年 西コース 3,959便/年 北コース左右 5,879便/年</p> <p>R1.10月：再編案を基にする路線案を地域公共交通会議で協議 R1.11月：タウンミーティング開催 R2. 8月：路線・ダイヤ・運賃概要協議 R2. 4月（予定）：バスターミナルを発着とする路線再編</p>
セントラル地区バスターミナル検討 【基本方針3】	エコまちづくりを实践し、町の中心核となるセントラル地区に整備予定のバスターミナルに関する検討	バスターミナル乗入れについて、バス事業者と協議した結果、ジェイアール東海バスがR2.10から乗入れ開始。また、巡回バス全路線及び名鉄バス愛教大線についても、R3.4から乗入れ予定。

事業名	概要	実績等
<p>公共交通広域連携 【基本方針1】</p>	<p>近隣市（豊明市、日進市、みよし市、長久手市）との広域公共交通網の検討（H29年度～協議会設置）</p> 	<p>R2.3月：尾三地区公共交通担当者連絡会議 ・愛知県合同会議開催 各自治体の取組状況についての情報提供（本町からの主な情報提供） ・巡回バス再編について ・バスターミナルへの乗入れ予定について</p>
<p>公共交通利用促進 【基本方針4】</p>	<p>■地域づくりと一体となった取組み（バスを活用したまちづくりイベント等）</p>  <p>■GTFS化推進における取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> • R1.11月：文化産業まつり及びタウンミーティングの開催 • R1.12月：放課後子ども教室において、名鉄バスによる「バスの乗り方教室」を開催 (その他) • いこまい館、町民会館、各地区コミュニティセンターにおいて、バスマップ配布 • 転入者等へのバスマップ配布 • じゅんかい君ぬり絵の配布 <p>町ホームページの「オープンデータTOGO」でGTFSデータを公表</p>

東郷町地域公共交通網形成計画における評価の考え方

毎年実施する個別評価と目標年度における総合評価により実施。
東郷町地域公共交通会議で評価・検証及び改善策を検討。

【自己評価】

令和2年12月16日開催 東郷町地域公共交通会議

幹線バスの運行に関する評価

(交通網形成計画目標)

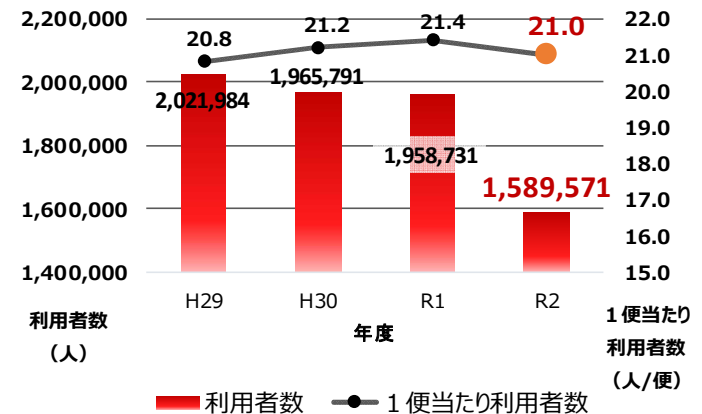
路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
町内名鉄バス	1便当たり利用者数	20人	21.0人	達成

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
名鉄バス東西線	収支率	51.7%	38.7%	未達成

◆目標達成状況についての考察

- 地域幹線系統補助路線の名鉄バス東西線を始め町内の多くの路線で利用者は昨年比で減少
- 新型コロナウイルス感染症の影響から、利用者が減少したと思われる。
- 東西線については、令和3年3月以降、鉄道駅及び商業施設に近接するバス停の利用者が大きく減少していることから、学校の休校や買い物利用減少の影響を受けたと考察する。

名鉄バス 町内路線利用者数



支線バスの運行に関する評価

(交通網形成計画目標)

路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
巡回バス	1便当たり利用者数	13人	12.1人	未達成

◆目標達成状況についての考察 (全体)

令和2年2月までは全体的に前年度比で利用者数は増加傾向であった。3月から利用者が減少したことから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考察する。特に、公共施設休館や学校休校、また利用の多い高齢者の買い物・通院を目的とする利用が減少したとことが要因と分析する。

◆コースごとの考察

●南北コース (フィーダー系統補助路線)

(生活交通確保維持計画目標)

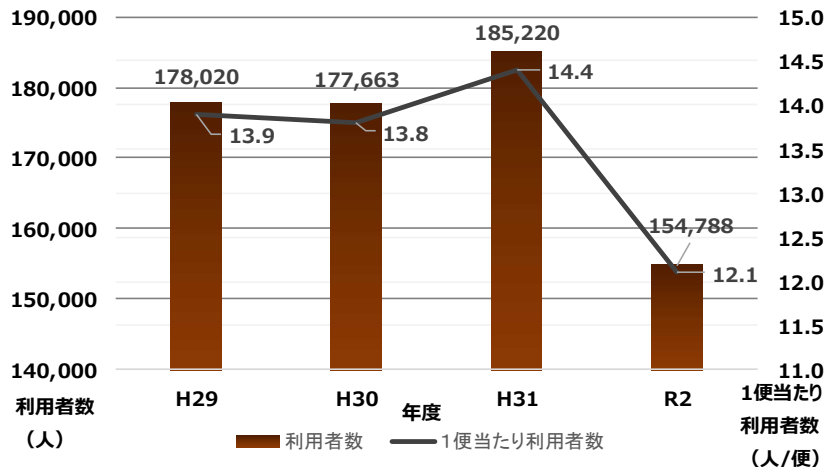
路線名	項目	目標値	実績値	達成状況
巡回バス南北コース	年間利用者数	48,000人	38,486	未達成

- 鉄道駅及び幹線である名鉄バス東西線に接続し、町内商業施設を經由する路線である。住民の生活交通手段として、令和元年9月から令和2年2月までは前年比増加傾向であったが、3月から新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者数が減少。
- 北コース
 - 2か所の鉄道駅と接続し、通勤・通学や買い物での利用が多いコースだが、南北コース同様3月から利用者が減少
- 西コース
 - 主に住宅地と公共施設・買い物や通院等生活としての利用が多いコースだが、南北コース同様3月から利用者が減少

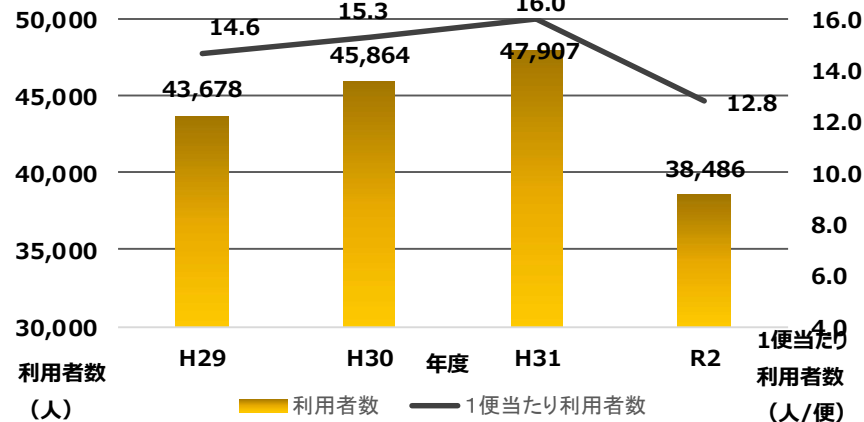
4.計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

(参考：巡回バス利用者数の推移)

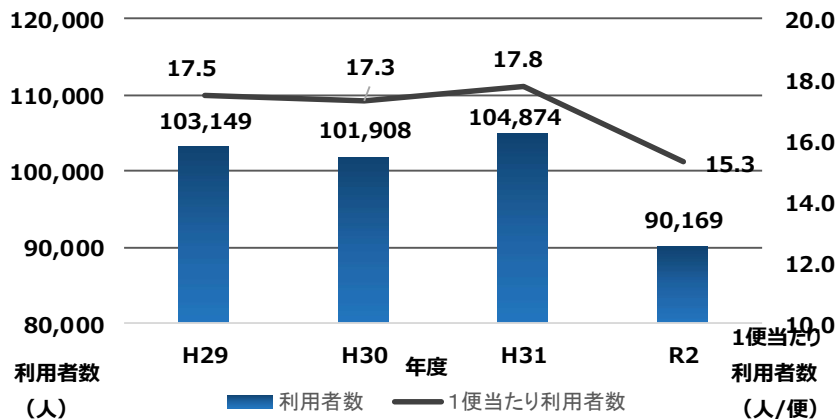
全コース利用者数



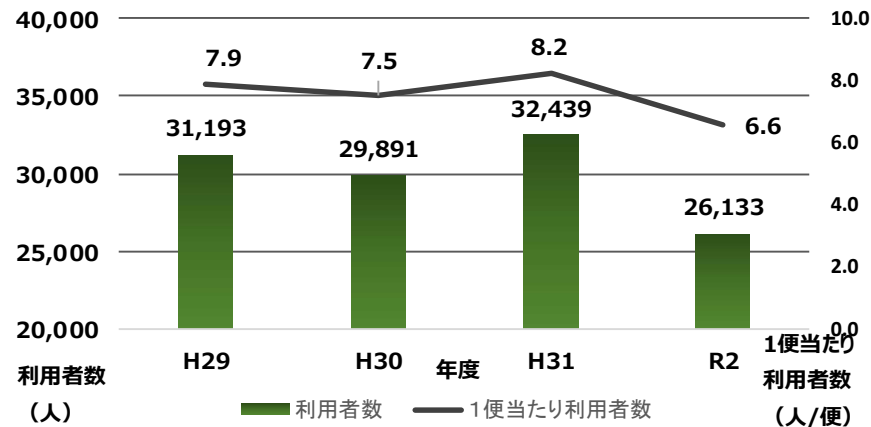
南北コース利用者数



北コース利用者数

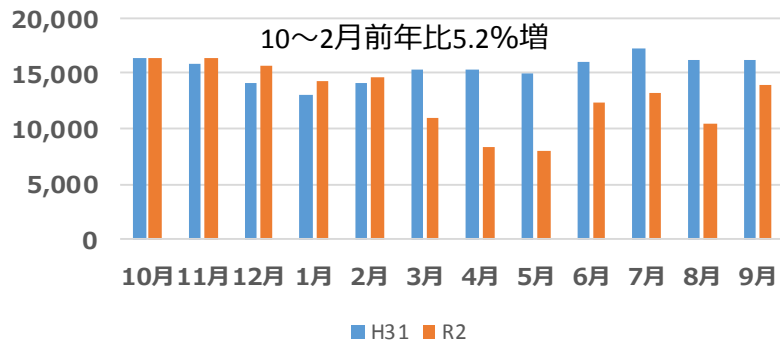


西コース利用者数

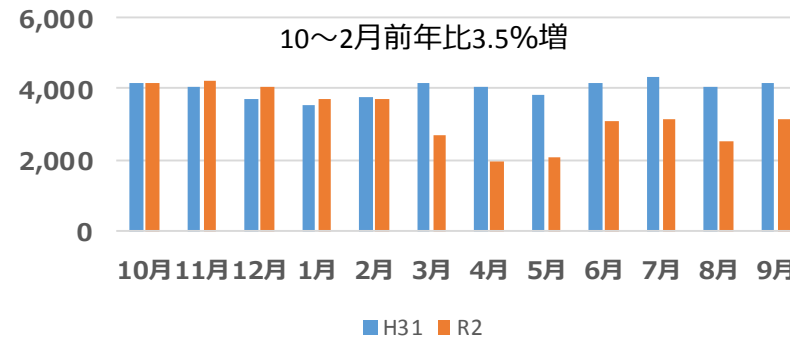


(参考：巡回バス利用者数の月別利用者数の推移)

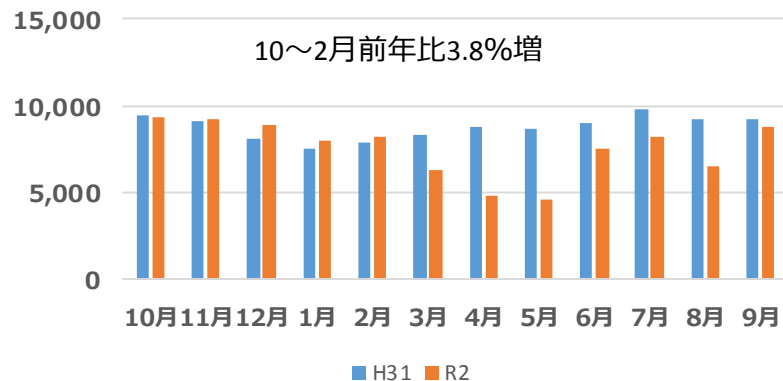
月別利用者数 (全コース)



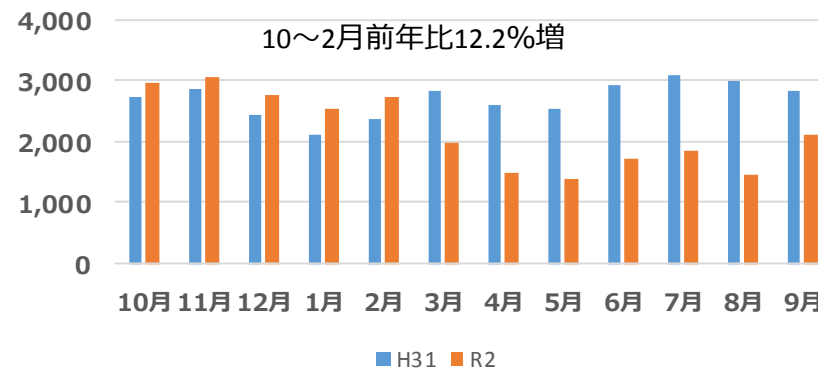
月別利用者数 (南北コース)



月別利用者数 (北コース)



月別利用者数 (西コース)



今後の方針

広報やホームページ、ららぽーと愛知東郷内の東郷町のテナント等を活用して利用促進を啓発する。
町のイベント等が再開した場合は、そちらでの啓発活動も実施する。

《課題1》

巡回バス及び町内名鉄バスの利用者の回復・維持



《対応方針》

- 共通
 - ・ 新型コロナウイルス感染症対策（マスクの着用・換気・消毒等）の継続
 - ・ 公共施設・コミュニティセンター、ららぽーと愛知東郷にバスマップ・啓発チラシの配置（R2年度実施）
 - ・ イベントにおけるバス利用の啓発
- 巡回バス
 - ・ 利便性向上のための巡回バスへのバスロケーションシステムの導入（再編開始時導入予定）

《課題2》

東郷セントラル地区内バスターミナルへの乗り入れ路線の実現



《対応方針》

- バスターミナルを町民や近隣市民が広域的にアクセスできる交通結節点とすることを旨とする。
- ・ R2年10月 ジェイアール東海バス乗入れ
 - ・ R3年4月予定
（町バス）巡回バス及び藤田医科大学病院へのバス（名鉄バス）愛教大線
 - ・ バスターミナルに近隣市のコミュニティバスを乗入れることができないか検討（課題3とも関連）

《課題3》

近隣市のコミュニティバスとの連携にも配慮した利用しやすいバスネットワークの形成



《対応方針》

- ・ 尾三地区における南北路線の需要を把握し、路線を検討

令和3年4月に地域公共交通網形成計画を更新予定。
今後は、そこに記載する基本方針等に基づき、施策を実施。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年12月16日

協議会名: 東郷町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダ系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
瀬戸自動車運送株式会社 南北コース左・右回り	いこまい館～日進駅～いこまい館	<p>・GTFS化のより一層の推進、利用促進及び利便性向上 →本町のホームページの「オープンデータTOGO」でGTFSデータを公表し、GTFS化のより一層の推進、利用促進及び利便性向上に努めた。</p> <p>・令和3年4月以降の公共交通網形成計画の更新及びバス路線再編に向けた公共交通ネットワークの構築 →令和3年4月の公共交通網形成計画の更新に向け、令和2年に各種調査を実施。また、令和2年9月開業のららぽーと愛知東郷に近接して整備したバスターミナルを本町の交通結節点とすべく、令和3年4月に予定するバスターミナルを発着とする路線再編の検討を進めた。</p> <p>・尾三地区が連携した広域的な公共交通ネットワークの構築 →尾三地区広域公共交通推進会議において、バスターミナルを活用した広域的な交通ネットワークの構築可能性について協議。</p>	A 遅延などによる運休はなく、事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <p>■令和2年度目標 ・目標利用者 48,000人</p> <p>■令和2年度実績 ・利用者 38,486人</p> <p>事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。 令和2年2月までは全体的に前年度比で利用者数は増加傾向であった。3月より利用者が減少したことから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考察する。総合的に減ったが、特に利用の多い高齢者の買い物・通院を目的とする利用が減少したと分析する。</p> <p>このように、利用者は減少したものの、地域住民の生活の足として運行を確保している。</p> <p>(参考)</p> <p>■輸送量に関するその他事項 ・運行回数 2,999回</p> <p>■収支率に関する事項 ・令和2年度収入額実績値 828,003円(補助金交付申請書より。)</p> <p>・令和2年度経常経費 15,834,256円(補助金交付申請書より。)</p> <p>・令和2年度収支率 828,003円 ÷ 15,834,256円 = 0.05</p>	<p>今後も引き続きバス車内での新型コロナウイルス感染症対策を行い安全性を確保しながら、町内外の人が多く訪れるららぽーと愛知東郷内の本町テナントにバスマップ等を設置し、バス利用促進の啓発に努める。</p> <p>令和3年4月からららぽーと愛知東郷に近接するバスターミナルをじゅんかい君全便発着点とするとともに、バスロケーションシステムや無料乗継券、新たな藤田医科大学病院へのバスを導入することで利便性の向上に努める。</p> <p>また、近隣市のコミュニティバスの乗入れの協議やバスターミナルを活用した、近隣市と連携した広域的な公共交通ネットワークについて検討していく。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年12月16日

協議会名:	東郷町地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	東郷町の地域公共交通体系は、鉄道、路線バス、コミュニティバスが相互に補完し合い、地域住民の生活行動に応じた利用しやすく、合理的かつ効率的な公共交通ネットワークを形成し、地域公共交通の活性化及び再生を図ることにより、「公共交通が暮らしになじみ、気軽に出かけたくなるまち」を目指します。
-----------------------------	---